

2020 年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：創造技術コース

【研究代表者氏名】：前田充浩

【研究代表者氏名フリガナ】：マエダミツヒロ

【研究代表者職】：前田充浩

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所、福永哲也、リサーチ・フェロー
- ・東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所、中沢賢治、リサーチ・フェロー
- ・東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所、吉村伸、リサーチ・フェロー

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

- ・キルギス大統領府投資委員会、Talaibek Koichumanov、事務局長（元経済大臣、東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所リサーチ・フェロー）

【研究課題名】：第4次産業革命に対応するアジア／アフリカ型の中小企業経営倫理モデル構築に関する諸大学／政府関係機関等との協働研究

【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

・中小企業経営倫理とは、中小企業経営者が心得るべき「公（public）の思想」と「起業家精神（Entrepreneurship）」のバランスのことであり、近代化の情報化局面におけるガバナンスを中小企業の観点から捉えたものである。近代化は今日、産業化局面から情報化局面への局面遷移を進めているところであり、その中にあるのは、社会システムのガバナンスは、政府だけではなく、他の多くの主体との協働によって進められることになる。中小企業も例外ではなく、特有の方法で社会システムのガバナンスに参入することになる。移行経済圏諸国では、産業化局面における中小企業の活動の経験を欠いたままいきなり情報化局面に突入するため、特有の PPP（Public Private Partnership）モデルが必要になることから、東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所では従来より移行経済圏諸国の政府関係機関等と連携して、移行経済圏諸国における中小企業経営倫理のあり方に関する協働研究を進めて来ており、キルギス大統領府、ラオス首相府、カンボジア首相府等政府レベル（閣僚級）のセミナーにおいて成果の発表を続けているとともに、キルギス大統領府からは協働研究者を東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所のリサーチ・フェローに迎えている。本年度においては、経済活動における ESG（Environment, Social and Governance）投資の重要性の高まりを新たな社会システムのガバナンスの観点から捉えることとし、第1に、ESGの起源を21世紀初頭の New Capitalist に遡って分析した。第2に、中国による移行経済圏諸国への様々な投資を ESG の観点から評価した。第3に、ESGに基づく移行経済圏諸国を含むアジア／アフリカ諸国の中小企業経営倫理モデルの構築に必要な課題を整理した。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

1. 「towards Studies of Informatized Society Building」、情報社会学会理論 WG 研究会、2020 年 7 月 20 日。

2. 「e-KYC based Nation State Building」、情報社会学会理論 WG と東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所共催研究会、2020 年 10 月 11 日。
3. 「近代文明の情報化局面と情報社会構築」、登米フォーラム（東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所、一般社団法人ピグマリウス・アカデミア、宮城芸術文化館共催）、2020 年 10 月 26 日。
4. 「China's Challenge on Informatized Society Building」、情報社会学会理論 WG 研究会、2020 年 11 月 29 日。
5. 「感性工学 (Artware Engineering) 概論」、登米フォーラム（東京都立産業技術大学院大学経営倫理研究所、一般社団法人ピグマリウス・アカデミア、宮城芸術文化館共催）、2020 年 12 月 17 日。
6. 「A Proposal of Platformer Driven 'Dual' Integrated States」、情報社会学会理論 WG 研究会、2021 年 1 月 17 日。
7. 「A Proposal of Digital Human Resource Development in the Age of Digital Transformation」、INTERNATIONAL SCIENCE, TECHNOLOGY, AGRI-FISHERIES AND MATHEMATICS (iSTEAM) RESEARCH CONGRESS 年次研究発表大会（フィリピン、Eastern Visayas State University）、2021 年 2 月 5 日。
8. 「Geo-forming Method of Digitized Agriculture」、リベリア大使館主催セミナー、2021 年 2 月 11 日。
9. 「APEN's Industrial Human Resource Development」、AIIT と Asia Link（メルボルン大学）との共催セミナー、2021 年 2 月 25 日。
10. 「The Concept of the Dual Integrated States」、情報社会学会理論 WG 研究会、2021 年 2 月 25 日。
11. 「Platformer and 'Dual' Integrated States」、情報社会学会理論 WG 研究会、2021 年 3 月 6 日。

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

- ・『情報社会構築学へ向けて』、前田充浩、東京都立産業技術大学院大学紀要第 14 号、2021 年 1 月。

【作品等】

・

【科学研究費助成事業への応募状況、採択状況】

・

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・

【受賞等】

・

【その他社会貢献】

【公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等】

- ・キルギス共和国大統領府投資委員会事務局長（研究分担者、Talaibek Koichumanov）
- ・キルギス共和国大統領府顧問（研究代表者、前田充浩）
- ・一般社団法人ピグマリウス・アカデミア理事（研究代表者、前田充浩）
- ・一般社団法人アフリカ開発協会監事（研究分担者、福永哲也）

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

•

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

•